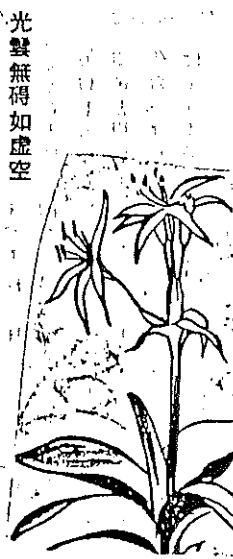


月林寺々報



ではないですか。不可思議のなかではじめて思議でいるものが眞実です。私たちのはからいによつて在るとしたものは、はからいの動きによつて、その在るとしたものは、が消えいつてしまいます。

「まあ、かわいい。こんなかわいい子、どつからきたんやろう」

どの親でも必ず言ふことばです。そしてそこそこ真実の親と子とのきずながあるのです。

思いの世界、はからう世界、思議する世界ではこのようなことばは出てまいりません。

こういう事情で、こうなりゆきで、こうこないのでしよう。

この子が、いまこうして私の子であるといふことのよろこびは「こんなかわいい子、どつからきたんやろう」「不思議なことや」「思つてみることも考えてみることもできない不可思議なご縁や」というところ母はあらためてわが子を抱きしめて、わが子の存在を確かめるのです。

（このご和讃については第三回目です）

「難思議」とあるのは、南無阿弥陀仏さまのま

一切の有碍にさわりなし
光聲無碍如虛空
難思議を帰命せよ

南無阿弥陀仏をとなうれば
無りな注文つけられない

南無阿弥陀仏をとなうれば
阿く業ほんのうさわりない

南無阿弥陀仏をとなうれば
弥ちのけわしきるまない

南無阿弥陀仏をとなうれば
陀めな私もすてられない

南無阿弥陀仏をとなうれば
南無阿弥陀仏をとなうれば

一仏社会員の方が送つてくださいました。

大変みごとなお領解と有難くよましていただきました。

神や仏に「無理な」おねだりしなくてもすみます。

子どもと大人と合わせて丁度五十人

第十九回勝林寺子ども一泊研修会を

八月十八日・十九日にひらきました。

例年となかみは同じでしたが、子どもたちは一生懸命楽しんで勉強してきました。おつとめ・讀歌・作法

く・法話・童話・紙しばい・ゲーム・

ご工作。盛り沢山で住職の方が音をあげました。宮嶋幸子先生にお手

づいたときました。仏婦の方々

食事その他生活のお世話ご苦労様でした。

研修会は吉田などはれません。また方角

をこそと、「一切の有碍」のなかにはたらいてくださいました。吉田には吉田などはれません。また方角

碑を建てる日には吉田ではありません。また方角

墓相などこだわつてはなりません。まして墓の規模で競争するなど戦闘しいことです。「併会一處」が墓の意味ですから、だれもが容易にお参りできる優しい墓がいちばんよいのです。寺にご相談ください。

アロエ・ジース

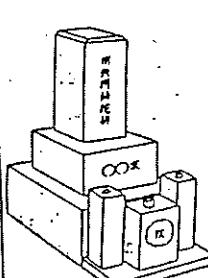
あなたの美容と健康のためにおためしください。
材料 アロエ 大人十五日・小人六日・赤ちゃん二日
作りかた 以上をみな入れてジューサーにかける。

はらみつ 大きじ一杯
水 三〇〇cc

ついでに「ポテチップスをカラツと揚げるコツ」

ジャガイモをうす切りに。水洗い。
水を切つて一時間半冷蔵庫に入れておく。
冷蔵庫から出してすぐに揚げる。

味噌をふりかける。



墓の宗

- ① 軸石の正面にはお名前「南無阿弥陀仏」を刻みます。家紋を入れる場所も同じです。
- ② 家名は古石の正面が四面の柱に刻みます。家紋を入れる場所も同じです。
- ③ 法名等は副碑石板に刻みますが、冥宗では「靈標」、「靈位」などの文字は用いません。「法名碑」、「〇〇家俱会一處(ケイイツシヨ)」などとします。副碑を作り出して、それで益々苦惱煩惱のなかにのめり込んでゆきます。
- ④ 水手地蔵・五輪塔は墓室では建てません。また組碑の日付に「吉田」などはれません。
- ⑤ 墓相などこだわつてはなりません。まして墓の規模で競争するなど戦闘しいことです。「併会一處」が墓の意味ですから、だれもが容易にお参りできる優しい墓がいちばんよいのです。寺にご相談ください。

子どものほりけんしゃう会では「いんげんがおたかうさん」の話を下さいます。私はお話をうむべしを使ひをしない。うにふければ「いんげんが」と思ひました。たとえお話をうむべしを使ひました。見だり白泉しかつたてで持つておけ。おけをすますやうやくをあけます。おけのみたまうとつもありかとう。おけ

うにふければ「いんげんが」と思ひました。たとえお話をうむべしを使ひました。見だり白泉しかつたてで持つておけ。おけをすますやうやくをあけます。おけのみたまうとつもありかとう。おけ

うにふければ「いんげんが」と思ひました。たとえお話をうむべしを使ひました。見だり白泉しかつたてで持つておけ。おけをすますやうやくをあけます。おけのみたまうとつもありかとう。おけ

うにふければ「いんげんが」と思ひました。たとえお話をうむべしを使ひました。見だり白泉しかつたてで持つておけ。おけをすますやうやくをあけます。おけのみたまうとつもありかとう。おけ

うにふければ「いんげんが」と思ひました。たとえお話をうむべしを使ひました。見だり白泉しかつたてで持つておけ。おけをすますやうやくをあけます。おけのみたまうとつもありかとう。おけ

うにふければ「いんげんが」と思ひました。たとえお話をうむべしを使ひました。見だり白泉しかつたてで持つておけ。おけをすますやうやくをあけます。おけのみたまうとつもありかとう。おけ

うにふければ「いんげんが」と思ひました。たとえお話をうむべしを使ひました。見だり白泉しかつたてで持つておけ。おけをすますやうやくをあけます。おけのみたまうとつもありかとう。おけ

うにふければ「いんげんが」と思ひました。たとえお話をうむべしを使ひました。見だり白泉しかつたてで持つておけ。おけをすますやうやくをあけます。おけのみたまうとつもありかとう。おけ

うにふければ「いんげんが」と思ひました。たとえお話をうむべしを使ひました。見だり白泉しかつたてで持つておけ。おけをすますやうやくをあけます。おけのみたまうとつもありかとう。おけ

私のお念仏

宮嶋千秋

よく降つた雨があがつたと思うと、今度は毎日毎日陽照りつづき。なにかしら私の心のなかと似かよつたところがあるよう思えて、何かを教えてくださつてゐるよう思います。

一所懸命思いつづけていましても、何かが不足していると、思いもしないところに害が生れてくれるよう思われてなりません。

昨年来、ご院家様ご念願の本堂の格天井が完成されました。正確にいうならば私たちの先祖のお御堂であり、仰ぐところの象徴である本堂をご院家様が代表して思いつづけてくださつたのだと思います。

お寺にとつても次々とお金のかゝる問題がまちうけているなかでむずかしいと思われ、二回もの会議が行われましたが、さして大きな反対もなくすゝめられました。ご門徒の方々のお引きなご協力であります。

ご院家様のご教導のおちからはもちろんあります。が、古くからの先祖の思いのことろの流れが受け継がれ現われたのだと思います。われわれ門徒の誇りであります。

たゞ苦しい家計のなかから都合していだいた尊い財源です。それぞれに思いを寄せてくださいることは大切ですが、不足しているものがありはしないか考えてみたいと思います。大事に大事にと思いを寄せるかたわらで、大切なものを失なつていてことだつてあることを忘れることはできません。

九月に入りますと秋の彼岸がまいります。昼と夜のながさが同じになる中日がまいります。仏教の基本である「中道」のこところとよく通じているところから彼岸と仏教とは切りはなすことのできない関係にあります。

かたよらないところで物事を見つめることがみ教えのはじまりであることは、「みのりを開く会」の聴聞でいたいたところでござります。

他人のことも自分のことも同じに考えることに

少しでも近づきたいのです。

蓮には四つの徳があるといわれます。

まず第一に、蓮は一本の茎に一つの華です。

如来さまは、だれであろうこの私一人にはたらい

でくださるのです。

「弥陀五胡思惟の本願をよくよく案すれば、ひ

とえに親鸞一人がためなりけり」

この私一人のうえに「ご信心」の純一無雜、純

いけないということではなくて、悪い行いや悪い

思ひよりできない自分であるからこそ、お念仏の

なかに生きさせていただきお救のなかに生きさせ

ていただきたいということだと思うのでござい

ます。

お彼岸が近づき、ご祖先の思いのともしうを、いつそうつよいともしうにして、祖先の思いをねしたいし思ひおこしたいと思ひをよせておりま

す。

南無阿弥陀仏

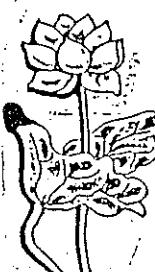
有る無しの思ひあさし

中道の弥陀のみこころ

ばかり知らずも

第三番目は、朝ひらいて、夕方には花が閉じます。きつとしたリズムにのつた花です。如来さまのいのちのなかに生れかわらせていたよいた以上、私のいのちは如来さまのいのちのリズムのなか・朝よろこびにめざめ、夕に感謝でとじる生活でありたいものです。

第四番目は、蓮はどうの中にしか咲かないとあります。



分陀利華

夏お盆の前後に咲く蓮にもいろいろな種類があるそうです。

蓮もあるそうです。なかでも、フンダーリカ（分陀利華）という蓮は、日中に咲く純白の蓮で、これが蓮のなかの王様だそうです。

佛教では昔からこのフンダーリカとよばれる白い蓮を、如来さまを象徴する花としてえがいてまいました。

蓮はほんとに如来さまの花です。

九月のこよみ

一日 出石組門徒総代研修会（福成寺）

二日 阪神プロツク総代研修会

三日 神戸プロツク総代研修会

四日 資母小学校一年学P子ども会

五日 初田信一郎氏宅法事

六日 坂岡次男氏宅法事墓参

八日 但馬プロツク総代研修会（豊岡教堂）

九日 丹波プロツク総代研修会・玉日会・十

日夜会

十一日 苗木家庭法座

十二・三日 養泉寺永代経講師

十五日 宮嶋真一氏宅法事

二十七日 兵庫教区教推企画推進室会議

二十八日 萩山和子氏宅納骨法要

二十九日 出石組「連研」

二十三日 秋彼岸会

二十五日 みのりを聞く会

二十七日 揭示法語交換

二十九日 「玉日会」・「十六夜会」

二十九日 「みのりを聞き会」

二十九日 「勝林寺寺報」発行

二十九日 「テレホン法語交換

二十九日 「依るところ」「帰るところ」をもつ人は

いつも安らぎのなかにある。

お彼岸・西の空・帰るべきお淨土を思ひみましょ

う。さそい合つてお参りください。

本堂「格天井」に関する寄附の等級割

第一期納期が秋彼岸までとなつております。別便にてお願い致しますが、何

卒よろしくお願ひ申しあげます。



九月二十三日 午後二時より

秋彼岸会ご案内

苦しくても楽しくても

生きるにも老いても死しても

西の空・帰るべきお淨土を思ひみましょ

う。さそい合つてお参りください。

「つらい長生き」

「貧乏人のお金持ち」

どこで分かれるのだろう

「お金持ちの貧乏人」

「つらい長生き」

「この一日のいのち尊し」

どこで決まるのだろう。